

イワヒバ属 (Seraginella)

[シダ] 《忌避》



カタヒバ。岩に着生する。



ヒメクラマゴケ。

<http://blogs.yahoo.co.jp/yakushimayouraku/6570006.html> (上写真)



オニクラマゴケ

区別のポイント

イワヒバ・カタヒバ・クラマゴケの仲間。

形態 多年生の群生するシダ植物。

分布 屋久島南限 (ヒメクラマゴケ) / 伊豆諸島・高知県・種屋久以南 (オニ)

名前の由来 ヒバは檜葉のこと。クラマゴケは京都の鞍馬山による。

葉 **〈全体〉** 根・茎・葉に分化し、葉は小葉で、分岐しない葉脈を持つ単葉。茎や根は担根体によって茎に接している。葉は二形をなし、側方に開出する大きい腹葉と、茎に圧着して前方に向いて付く小さい背葉とが2列に並ぶ。

備考

出典 4, ※